

実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	18
学校名	富山県立富山東高等学校

学校の現状と課題		本校は、文武一貫の精神のもと、勉学と部活動を両立する普通科高校として着実にその実績を積み重ねており、文武をいわず何事にも真摯に取り組む生徒が多い。 しかし、能動的・意欲的に課題を見つけ解決しようとする取り組みや、自らの意見・考えを表現する力は必ずしも十分とは言いがたく、今後の高度情報社会・グローバル社会に向けて、自らが課題を見つけ主体的に解決する力を全体的に底上げする必要がある。加えてコース生徒には、科学に関する基礎学力の向上と深い思考力の定着を求めたい。
テーマ(特色)		生徒の主体的な学びと発信力の育成
設定した「テーマ」の達成状況		・総合的探究の時間において、設定したテーマに対して主体的に研究を行うことができた。 ・社会人の講話や大学教員による指導・助言を受けることにより、広い視野から探究する能力と態度を育成した。 ・研究した内容を他に発信する機会を持ち、プレゼンテーション能力を養う機会となった。 ・自然科学コースの探究的な活動を支援し、その成果を普通科全体(学校全体)に広げた。
実施内容 (具体的に記入する)		・2学年の総合の授業では、グループごとに課題を設定し、仮説をたててそれを検証、発表する探究活動を行った。 ・富山大学教員の指導を受け、課題設定の切り口や研究の手法を学んで各自の研究内容を深めるよう努めた。 ・全員参加型のポスターセッションを行い、研究内容を分かりやすく他者に伝える方法を考え、発信力を養う機会とした。 ・第2、3学年自然科学コース出前授業では、富山大学より講師を招き、最先端の科学研究の紹介をするなかで、生徒の研究活動への興味・関心を高めた。
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)		・生徒が自ら課題を見つけ、グループのメンバーと協力しながらテーマについて深めていくことができた。 ・探究した内容を、いかに効果的に分かりやすく人に伝えるかについて、一人一人が考えることができた。 ・よりよいポスターセッションを目標に、効果的なポスター作成について学ぶことができた。 ・ポスターセッションの実施において、生徒のプレゼンテーション能力が高まった。 ・将来、研究者や教職員などの地元に貢献するような人材を育成する基礎となった。 ・富山大学教員に中間指導を受けたことによって、各自の研究内容についてさらに改善することができた。 ・他のグループ発表への質疑応答を通して、様々なテーマについて考えを深めることができた。生徒の達成感にも大きく寄与することができたと思われる。
対象者(学年・人数など)		2年普通科文系・理系(208名) 2・3学年 自然科学コース(59名)
実施実績	4月	グループ研究開始(2年)
	5月	
	6月	出前授業(2・3年)
	7月	
	8月	
	9月	富山大学教員による指導(2年)
	10月	
	11月	富山大学教員による指導(2年)
	12月	ポスターセッション(2年)
	1月	
	2月	
	3月	普通科・コース合同発表会(2年)